ARIMA CROSS STUDY PLAN

第6学年

研究主題

みんなで協力し、たくさん経験して、
自分たちの力で夢を実現しよう
～関わりあい・語りあい・高めあい～

総合

1人でも多く来たいと思える有馬小学校

どのような学校が多様な子どもたちにとって魅力的な学校か考える活動の中で、現在推し進められているインクルーシブな学校づくりに向けて活動していきたいというおもいをもった。「インクルーシブな学校」を「1人でも多く来たいと思える有馬小学校」と捉えて、学習活動を進めていく。学校を引っ張っていく最高学年として、より良い学校づくりに貢献できる喜びや、やりがいを感じられるようにしていく。また、大変難しい問題に取り組むことになるため、自分たちの力だけでは実現困難なことにおいて、周りの人たちに支えられていることに感謝する気持ちが持てるようにしていきたい。具体的な活動としては「より良い学校にするために何かを提案する活動」「居心地の良い学校にするために何かを製作する活動」「調べてわかったことを、多くの人に伝える活動」などが考えられる。教科等の学習で育んだ力が活かせる場となることを期待している。

各教科等

算数

「個別最適な学びを目指して」
内容や自信の習熟度などを鑑みて自分で1時間の達成可能な目標を設定し、小さな成功体験を積み重ねて、自信をつける。

国語

「みんなで楽しく過ごすために」
→みんなが納得できる結論にたどりつける話し合いができる。
「知ってほしいこの名言」
→出会って感銘を受けた言葉を他の人に伝えることができる。大切にしたい言葉→出会った言葉への自分の思いを伝えることができる。

社会

「私たちの暮らしを支える政治」
→提案したいことを正しい方法で提案できる。

学校教育活動

運動会

・創意工夫
・共同的な活動

ハルニレ

・地域とのつながりを大切にする。

委員会

・主体的な活動
・インクルーシブな取り組み

道徳

相互理解、寛容

「この胸の痛みを」(広い心で)
自分と違う意見を排除せずに素直に聞き、相手がそのような考え方の理由や背景を理解しようとする姿勢を育てる。

「昼休みのコートで」(理解し合うために)
相手の立場や気持ちを考え、互いに尊重し合おうとする心情を育てる。

「最後のおくり物」(その人のために)
心からの思いやりや親切とはどんなものかを考え、相手の立場に立った深い思いやりの心を大切にする心情を育てる。

「今度は、ぼくの番」(相手を思いやって)
相手を思う心はどのような行動で示せるかを考え、相手の状況や気持ちを考えて、思いやりをもとうとする心情を育てる。

親切、思いやり

学年の目指す児童像

①学ぶ楽しさを実感し、自ら探究し、発信できる子(知)
②互いに励ましあい、認めあい、自分を信じられる子(徳)
③健康を意識して生活時間をマネジメントする元気な子(体)